

健全な教えの基

(テトス2・15-18)

一、テトスへの手紙の背景

『テトスへの手紙』は、使徒パウロがテトスに宛てて書いた手紙ですが、パウロが書き送ったのは、パウロにとっても、テトスにとっても晩年であった可能性が大きいです。と言いますのは、1章5節で、**「私があなたをクレタに残したのは、残っている仕事の整理をし、私が命じたおりに町ごとに長老たちを任命するためでした。」**と、語っているからです。テトスの名前は、ガラテヤ人への手紙、コリント人への手紙第一、テモテへの手紙第一において多く現れ、かなり忙しく活動していたことを窺い知ることが出来ます。そしてある時、パウロと共にクレタ島に行き、パウロはテトスを置いてそこを旅立ったことが考えられます。では、パウロとテトスがクレタ島に行ったのはいつだったのでしょうか。それは、第一回目のローマにおける監禁から解放された後のようです。使徒の働き28章に書かれている、ローマにおける監禁です。その後、テトスと共にクレタ島に行くと考えられ、辻褄が合います。伝承によればテトスは生涯、クレタ島の教会、すなわちキリストを信じる群々の指導者としての務めを担い、生涯を閉じたと言われている。

ます。一方、パウロのその後の足取りは良く分らないのですが、途中小アジアの港町トロアスで捕らえられ、ローマに送られ、殉教したようです。そういうわけで、1章5節の、**「私があなたをクレタに残したのは、残っている仕事の整理をし、私が命じたおりに町ごとに長老たちを任命するためでした。」**はテトスならでは、かなり熟練した働人であったからこそ、なせる業であったと読むことができます。

二、信仰における熟練者

私は信仰生活において、自分が熟練者だと思ったら終わりである、と常々思っています——もちろん、そのように思ったことは一度もありませんが——。では、自分は初心者だと思ったら良いのでしょうか。それはちがうと思います。「自分は初心者だから、まちがっても当然でしょ、失敗しても当然でしょ」という甘えが生じるかも知れないからです。信仰生活における熟練者とは何なのでしょう。私はこう思います。どのような状況に置かれようと、キリストによって現された福音の重心をしっかりと捉えている人であると。そのように考えますと、信仰の熟練者になるのは、それなりにたいへんなことであると思います。

39年前、28歳で神学校を卒業した私は、富山県の氷見キリスト教会に遣わ

されました。困ったことは、3か月ぐらい経ったら、日曜の礼拝で何を語ったら良いか、まったく分からなくなってしまうことでした。「自分は何を学んできたのだろうか。何にも分かっているじゃないやないか」と思いました。それはキリストによって現された福音の重心をしっかりと捉えていなかった姿でした。今だからこそ笑って言えますが、当時はかなり悩み、相当に迷いました。それから、ずいぶん年月が経ちました。今はどうなのかと申しますと、キリストの福音に関して、かなり強い求道心を持っています。もっとも「求道心」と言ってしまうと、洗礼を受ける前までのことのように聞こえてしまうかも知れませんが、そうであるなら、神を求め「求道心」と言いたいです。寝ても覚めても、そのことをずっと考えています。これだけは、天からの賜物として与えられているようです。信仰生活において熟練者になろうと思えば、神の恵みによらなければ不可能です。もし本物の熟練者になったとするなら、自分の内には誇るべきものが何もない、誇るべきはキリストによって現された恵みだけである、と知っている人です。

三、健全な教えに根ざす

テキストに戻りますが、使徒であり、指導者であったパウロはテトスに語りました。2章1節です。**「しかし、あな**

たは健全な教えにふさわしいことを語りなさい。」とあります。「しかし、あなた」**は**と語っているからには、だれかのことを指しているわけです。それは、前後関係からの推測になりますが、自らの信者で、指導者になりたがるうとしている人で、且つ問題を抱えている人たちです。そういう人たちの発言を、野放しにしてはならないのです。そのため、**「あなたは健全な教えにふさわしいことを語りなさい。」**と語られています。では、**「健全な教えにふさわしいこと」**は、どこから出てくるのでしょうか。キリストの福音から出てまいります。しばしば引用しますが、コリント人への手紙第一15章1節以降に記されていることです。ということは、皆さま方が「どのようにあかしをして良いか分からない」と思うとき、キリストが、聖書に書いてあるとおり、私たちの罪のために死なれたこと、また、三日目によみがえられたことを思い続けたら良いのです。そうしますと、不思議なことですが、父・子・聖霊なる神とあなたの人格との接点が生じます。当然、その内容は人によって異なります。人格的な交流の中で生まれるものだからです。この、一人ひとり異なるところが、面白いところでは。

皆さまは、神の恵みによってキリストの御前に導かれました。この事実を、是非たいせつになさってください。